

## 沖合黒潮調査 2016. No. 2

平成 28 年 11 月 28 日

和歌山県水産試験場

漁業調査船「きのくに」は 11 月 25 日に潮岬南沖 50 マイルの漁場調査を行った。  
日本列島は西から移動性高気圧に覆われる。海上はうねりを伴うが風は弱かった。  
調査結果は以下のとおり。

		潮岬南沖
黒潮中心部		10 マイル
流速 (流向)		1.2~3.3 kt (E~SE)
黒潮表面水温		23.6~25°C
黒潮強流帯の北縁		2~3 マイル付近
沿岸漁場水温 表層		23°C 台
(2~5 マイル)	50m	23°C 台
	100m	19~20°C 台
	150m	15~17°C 台

### 黒潮など (図 1)

関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬で接岸、紀伊水道沖を北上、潮岬で極めて接岸、熊野灘を僅かに南下している。紀南沿岸域~紀伊水道外域は暖水に覆われ、暖水の一部は水道内中央へ舌状に進入している。熊野灘では黒潮北縁からの暖水が南部沿岸に波及している。北中部には帯状に孤立暖水がある。

### 沖合・沿岸の流況および水温 (図 2、3)

今回の調査では潮岬南沖 10 マイルの水深 200m で 16.56°C を観測した。水深 200m の黒潮の指標水温が 16.0°C 以上であることと流況から、黒潮中心部を 10 マイルと判断した。黒潮は潮岬沖で極めて接岸している。

ADCP による流況結果から、表層 (17m) では潮岬沿岸 2 マイルで流速 2.7kt、同岬 5 マイルは 2.8kt、同岬 6.5~15 マイル付近で 3kt 台となり、今回の観測で最強流域にあたる。

黒潮流域内の流れは、1~3kt 台で、同岬 15~27 マイルで 2kt 台、これより南沖では流速 1kt 台となり、同岬 42 マイル付近で更に緩くなり 1kt 未満となるが、同岬 50 マイルでは 1.5kt を観測した。

表面水温は潮岬沿岸 2 と 5 マイルの定点で 23°C 台、10 マイルは 24.6°C となる。以降 5 マイル毎の観測では、同岬 25 マイルの 25.0°C を除いて 24.5~24.9°C であり、水温勾配が小さい。潮岬沖で黒潮が極めて接岸していることから、潮岬沿岸 2 マイルの 15°C 水温は水深 155m 付近で、同岬 5 マイルでは 203m であり、沿岸域の下層の低温化はみられない。また、潮岬南 30~50 マイルの沖合域で、水深 94~159m で 34.902~34.948 の高塩分を観測した。

### その他

潮岬南 45 マイル付近で髭クジラ 1 個体を目視した。

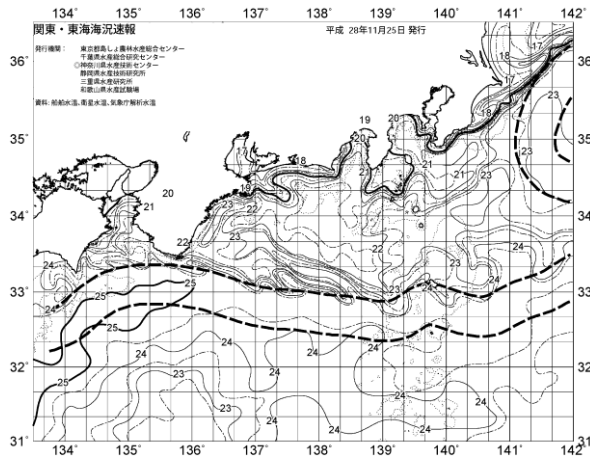


図1 調査時の海況図（関東・東海海況速報 2016年11月25日版）

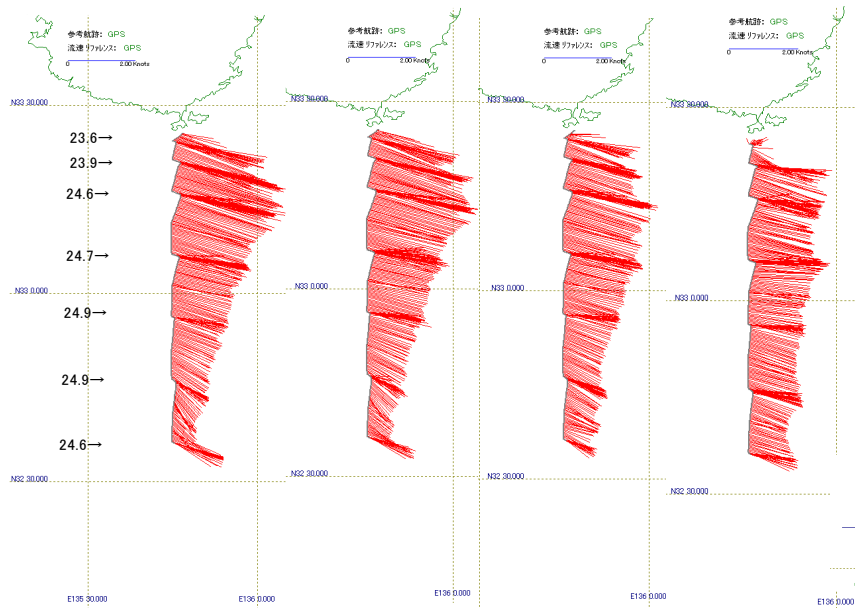


図2 潮岬沖合の海況（2016年11月25日観測）

図は左より往路表層（17m）、49m層、97m層、153m層の流況、図中の数字は表面水温を示す。

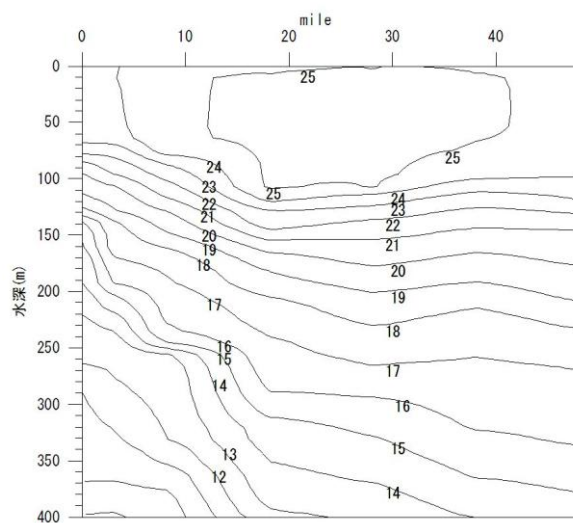


図3 潮岬南沖50マイルの水温鉛直分布図（2016年11月25日観測）